

【平成 30 年度組織調査部報告】

「日本 PSG 研究会会員施設における CPAP 管理（遠隔モニタリング含む）実態調査アンケート」

調査方法：日本 PSG 研究会会員施設（200 施設）に対して、アンケート郵送

回答率 130 施設（63.7%）

<アンケート結果>

① 「CPAP 管理の有無」

- あり 105 施設（81%）
- なし 23 施設（18%）
- 未回答 2 施設（1%）

⑥ 「CPAP 機器の使用モード」

- 固定（割合 80%以上） 44 施設（42%）
- オート（割合 80%以上） 61 施設（55%）
- その他 3 施設（3%）

② 「CPAP 管理件数」

- 49 以下 13 施設（13%）
- 50～99 13 施設（13%）
- 100～299 27 施設（26%）
- 300～499 8 施設（8%）
- 500～999 23 施設（22%）
- 1000 以上 19 施設（18%）

⑦ 「遠隔モニタリング活用」

- 活用している 44 施設（42%）
- 活用していない 61 施設（58%）

③ 「管理・対応者」重複あり

- 検査技師 124 施設（54%）
 - 医師 67 施設（29%）
 - 看護師 24 施設（10%）
 - 工学技師 8 施設（4%）
 - その他 7 施設（3%）
- （睡眠学会認定技師有り 60 施設）
（睡眠学会認定技師無し 64 施設）

⑧ 「遠隔モニタリングの活用目的」

- ・初期フォロー ・トラブル早期対応
- ・定期モニタリング、カード忘れ対策など

⑨ 「遠隔モニタリングの活用タイミング」

- ・導入 7 日以内 ・導入 1 ヶ月後、
- ・導入 2 ヶ月後 ・カード忘れ時など

⑩ 「遠隔モニタリングの活用項目」

- ・使用頻度 ・圧 ・リーク
- ・デバイス AHI ・フロー波形など

④ 「受診間隔」

- 毎月受診（割合 80%以上） 58 施設（55%）
- 2 ヶ月受診（割合 80%以上） 26 施設（25%）
- 3 ヶ月受診（割合 80%以上） 15 施設（14%）
- その他 6 施設（6%）

⑪ 「遠隔モニタリングの活用していない理由」

- ・必要なし・機器対応不可・ソフトがない
- ・方法が分からない ・マンパワー不足
- ・施設基準未達成 ・責任の所在が不明など

⑫ 「今後、遠隔モニタリングの活用してみたいか？」

（現在、使用していない 71 施設）

- 活用したい 53 施設（74%）
- 活用したくない 18 施設（26%）

<まとめ>

- ・ PSG 研究会会員施設において、CPAP 管理をしている施設は 81%
- ・ 47%の施設が、500 件以上の CPAP を管理している
- ・ CPAP 管理・対応に検査技師が関与している施設が 54%
- ・ 半数の施設で受診間隔を毎月で運用している
- ・ 遠隔モニタリングは、41%の施設で活用しており、500 件以上管理している施設に多い
- ・ 遠隔モニタリングを実施していない施設の 74%は、技術的、人員、算定用件などの問題がクリアされれば活用したいと考えている

調査へのご協力、誠にありがとうございました。